

授業評価・授業研究報告

保健体育講座・藤原誠

1. 授業の概要

本授業はスポーツ健康科学課程のスポーツ指導者養成コース（コース必修科目）、および同課程，スポーツキャリア開発コース（コース選択科目）の学生を対象とした授業である。受講者数はスポーツ指導者養成コース14名，スポーツキャリア開発コース7名（受講登録者8名のうち，1名は途中から受講放棄）の合計21名であった。

本授業では，生涯スポーツ社会の実現に向けた，国のスポーツ政策，それに基づく地方公共団体のスポーツ施策，また，国民の生涯スポーツの場となっている民間スポーツクラブを取り上げて，そのマネジメントについて論究している。

具体的な授業内容としては，まず，スポーツマネジメントの概念について理解を深めるため，自らが関与しているスポーツクラブを取り上げてマネジメントを構成する要素等について分析している。スポーツの領域は極めて多岐にわたるため，そのマネジメントも，その領域により多様な要素が関わりをもってくる。国や地方公共団体のスポーツ振興を図るための政策・施策，その理論的裏づけや実践的モデルを提供している欧州のスポーツ政策やスポーツクラブの実情等について，資料やビデオを通して学ぶ。日本のスポーツ政策については，平成12年に策定された「スポーツ振興基本計画」，また，平成22年に策定された「スポーツ立国戦略ースポーツコミュニティ・ニッポン」を取り上げている。その中に示されているスポーツ振興の柱となる総合型地域スポーツクラブについては，具体的な展開状況や問題点等について検討している。

また，国の政策とも関連する地方公共団体のスポーツ政策についても，一般住民の立場からスポーツ実施に関係するスポーツ環境等について見直している。その際，具体的な例として，愛媛県や松山市を取り上げて，政策目標・施策の方針とその展開状況を紹介しながら認識を深めている。さらに，近年，地域住

民のスポーツ実施を支えている民間スポーツクラブについて，これまでの発展経緯や近年の動向等をマネジメントの観点から考察している。

成績評価は，中間試験および期末試験の成績に基づき行っている。これまでは試験を行った結果，授業内容の理解が不十分な者についてはレポートの提出を求めているが，最終授業日と成績評価の締め切り日が極めて近く設定されており，十分な対応ができないのが現状である。成績評価の期限をもう少し延ばすべきではないか。

2. アンケート調査の実施

最終授業後にアンケート調査を実施している。アンケートの内容としては授業に対する取り組み状況，授業内容や理解の程度（授業内容，授業レベル，理解の程度等），一番関心をもった授業内容，授業方法，授業環境，その他，授業全般について設定している。すべて自由記述による回答としている。今回はこれに加えて，教育コーディネーター会議から依頼のあった学部DPに関するアンケートも急遽実施した。介護等体験への参加者1名を除く20名から回答を得た。結果の概要を以下に示す。

1) 授業に対する取り組み状況

「欠席，遅刻が多かった」，「遅刻することが多かったです。すみません。」にみられるように，欠席や遅刻を繰り返す者もいた。授業に臨む基本的姿勢に欠ける者もおり，各自の自覚をもった授業参加が求められる。しかし授業中は，「プリントにメモをとったり，ラインを引くなど，積極的に受講できたと思う」，「授業は興味のある分野で真剣に取り組んだ」，「授業に集中して，板書をとったり，話を聞くことができた」など，ほとんどの者は授業に真剣に取り組んでおり，授業中の雰囲気は良好であった。

2) 授業内容や理解の程度

「今まで習ったことのない内容だったけど、資料もたくさんあったのでとても理解しやすかったです」、「授業レベルも簡単すぎず、難しすぎずで丁度よかった」、「映像を見たりして分かりやすかったです」など、全般的に見て、受講生に見合った内容、レベルであったと思われる。しかし授業内容が多岐にわたるため、受講生によっては関心のない内容を含む場合もあり、難しさを感じたとの記述もあった。

3) 一番関心をもった授業内容

上述したように授業内容が多岐にわたっていることと関係して、受講生の関心も多様であり、一番関心をもった授業内容も多岐にわたっている。「スポーツクラブの現状」、「公共スポーツ施設についてのところ」、「海外の総合型地域スポーツクラブについて」、「スポーツ産業について」等があげられていた。可能な範囲で社会における多様なスポーツ状況について取り上げていこうと思う。

4) 授業方法

本授業では毎授業時に資料を配布し、講義形式で授業を実施している。適宜、受講生に質問をして各自の見解を述べる機会を設けている。

アンケートの回答には、「多くの配布資料があり、授業でも分かりやすく、家でも復習できるのでよかった」、「映像資料や学生に当てる場面もあるのでよいと思う」、「1人1人あてていくことで、全員が授業に参加できてよかった」など、概ね肯定的な記述が多かった。しかし逆に、「プリントが少し多くて大変でした」、「データのためのプリントは少し見にくい」等の指摘もあった。データの読み方等については授業時に説明しているが、理解しづらかったのかもしれない。今後、配慮していきたい。

5) 授業環境

授業の環境については「快適だった」、「特に問題はない」という記述がほとんどであった。建物の改修に伴い、教室の環境も整えられ、問題等の指摘はほぼなくなった。

6) 授業全般について

特に考慮すべき事項に関する記述はみら

れなかった。

7) 学部 DP との関連

スポーツ健康科学課程の DP との対応は以下の通りである。本授業は講義をベースとした授業であり、DP1「充実した生涯学習社会を築くため、スポーツや健康に関する確かな専門的知識を修得している」（知識・理解）、DP2「現代社会で生じている健康やスポーツに関するさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる」（思考・判断）に対応した授業である。これらに加え、DP4「スポーツや健康に関する課題に関心を持ち、主体的に課題解決に向かって、理論と指導を関連させた取り組みができる」（関心・意欲）においても向上傾向を示している。

知識・理解

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
向上していない	1	5.0	5.0	5.0
どちらかと言えば向上していない	4	20.0	20.0	25.0
どちらかと言えば向上した	12	60.0	60.0	85.0
向上した	3	15.0	15.0	100.0
合計	20	100.0	100.0	

思考・判断

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
向上していない	2	10.0	10.0	10.0
どちらかと言えば向上していない	3	15.0	15.0	25.0
どちらかと言えば向上した	11	55.0	55.0	80.0
向上した	4	20.0	20.0	100.0
合計	20	100.0	100.0	

技能・表現

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
向上していない	1	5.0	5.0	5.0
どちらかと言えば向上していない	12	60.0	60.0	65.0
どちらかと言えば向上した	7	35.0	35.0	100.0
合計	20	100.0	100.0	

関心・意欲

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
向上していない	1	5.0	5.0	5.0
どちらかと言えば向上していない	2	10.0	10.0	15.0
どちらかと言えば向上した	13	65.0	65.0	80.0
向上した	4	20.0	20.0	100.0
合計	20	100.0	100.0	

態度

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効				
向上していない	2	10.0	10.0	10.0
どちらかと言えば向上していない	7	35.0	35.0	45.0
どちらかと言えば向上した	7	35.0	35.0	80.0
向上した	4	20.0	20.0	100.0
合計	20	100.0	100.0	

3. まとめ

今回の授業アンケートの結果、および DP との対応を考慮しながら、今後さらに授業改善に取り組み、よい授業づくりに心がけていきたい。